

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課松林公民館	作成責任者
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	菊池 修

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工
1 人	1 人	1 人	8 人	0 人	6.08 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
36 時間	3.0 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
社会教育事業・イベントの参加者数	48,282人	50,000人	49,636人	37,220人	306人
文化財の指定件数	43件	49件			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	家庭教育・幼児期の教育の支援
2	地域教育力の向上
3	効果的な社会教育の推進
4	地域の学習拠点としての公民館の充実
5	文化財の保護・活用
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績が

B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める

E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない

なかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	公民館利用者活動支援事業(公民館)	4	1.73	一般	8,358,000 ----- 7,952,556	7,765,439 ----- 7,574,546	コロナ禍において、利用者の安全確保を優先すべく、利用制限等を定めたガイドラインを基に感染防止対策を講じて施設の運営を行うことができた。	利用件数	3,650件	1,483件	A	変動なし		
2	社会的要請課題をテーマとした事業(公民館)	3	0.56	一般	190,000 ----- 176,600	125,000 ----- 125,000	対面式による講座の代替としてオンラインによる講座や動画配信を実施し、地域課題解決に向けた学びの機会の提供に寄与した。	事業数	15事業	15事業 (動画配信11事業 10,008回再生) (オンライン4事業79人参加)	S	変動なし	●	
3	子ども事業(公民館)	2	0.52	一般	250,000 ----- 223,000	95,000 ----- 93,000	対面式による講座の代替としてオンラインによる講座や動画配信を実施し、楽しみながら学べる体験型学習の提供に寄与した。	事業数	9事業	12事業 (動画配信9事業 4,087回再生) (オンライン3事業33人参加)	S	変動なし		

[illegible]

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

〈5公民館としての取り組みと成果〉

子育てに悩みを持つ母親が一人で悩まないように産後体操を通じて、子育て中の親の不安や閉塞感の解消に努め、同時に年齢の近い子どもを育てる仲間を持つことでの情報交換をしたり、悩みを分かち合うことで、「孤独な子育て」を回避することを目的とする「スマイリングままサロン」について、例年は、各公民館で開催していたが、コロナ禍の中、参加者が集まっていた開催が困難なため、Zoomを使ったオンライン講座により5館協働により、3月に3回にわたり開催した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当面は地域住民の活動や公民館の事業に影響を及ぼすことが想定されるなかで、引き続き5館が連携を密に図り、工夫を凝らしながら社会教育の推進に努めていく。また、コロナ禍においても社会教育の灯を絶やさぬため、公民館5館のみならず、社会教育施設(図書館、体験学習センター、青少年会館を含め)の職員を対象に、Zoomを使ったオンライン講座を実施するための基礎知識、実際の操作を習得するための研修を実施しスキルアップを図るとともに、市民対象のオンライン講座を開催した。

(松林公民館の取り組みと成果)

政策的事業9事業については、「No.1公民館利用者活動支援事業(公民館)」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部事業を中止にしたことや休館としたために目標値には達しなかったが、目標値の40.08%は達成しており、成果があがったため「A」評価とした。「No.2社会的要請課題をテーマとした事業(公民館)」、「No.3子ども事業(公民館)」、「No.5地域交流事業(公民館)」、「No.7公民館ふれあい事業(公民館)」4事業については、対面式の代替である動画配信講座やオンライン講座により目標値を上回り、成果をあげていることから「S」評価とした。「No.4家庭教育支援関連事業(公民館)」は、目標値の55.56%であるが、ニーズを的確にとらえた事業を実施し、動画再生回数が多く成果があがっているため「A」評価とした。「No.6学習成果の還元事業(公民館)」、「No.9学習情報の提供(公民館)」2事業については、目標値には達しなかったが、今後の成果につながる準備ができたため「C」評価とした。「No.8次世代育成ネットワーク事業(公民館)」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により実施しなかったため「Z」評価とした。また、来館者数については、新型コロナウイルス感染症対策のため年間を通して対面式の事業中止や4月3日から6月30日までの休館、感染防止対策での時間制限や人数制限を行ったことにより昨年度に比べ減少した。しかし、前年度の44.52%の来館者数があり、地域の拠点としての役割を果たしているものと考えられる。オンラインで実施した講座参加者へのアンケート調査についても、「大満足」と回答した参加者が過半数以上となっており、参加者ニーズを満たした事業が実施できたと考えられる。引き続き新規参加者の獲得と、子育て世代も含め多世代が参加しやすい事業や環境づくりを推進していきたい。

なお、職員の時間外勤務については、一人あたりで換算すると月平均3.0時間であり、昨年度と比較して7割弱の減少であり、事務の効率化及び館内の協力体制の成果が表れたものとする。引き続き、事務の効率化及び館内の協力体制を推進し、職員のワークライフバランスの向上を図っていききたい。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
2	社会的要請課題をテーマとした事業	令和3年度事業実施方針に基づき事業を展開していくうえで、より効率的な事業進捗を図ることが必要であると考え、社会的要請課題をテーマとした事業・地域交流事業・公民館ふれあい事業を地域課題解決等事業、学習成果の還元事業と学習情報の提供を学習成果活用・学習情報提供事業にそれぞれまとめる。
5	地域交流事業	
6	学習成果の還元事業	
7	公民館ふれあい事業	
9	学習情報の提供	

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	第4次実施計画作成の際、適切に事業の統合等を図っており、現時点において事業の休・廃止は困難であるが、引き続き効果的、効率的な事業運営に努める。